

## 春はスミシが見頃です あきる野で観察してみよう

日本にはスミレの仲間が約60種あります。  
花は黄色、紫色、ピンク色、白色。  
あきる野市のスミレの一部を紹介します。



**タチツボスミレ**

いろいろな場所で観察できます。  
花色は紫～白まで変異あり。



**ノジスミレ**

低地の市街地や田畑、人家の  
近くで観察できます。



**ヒナスミレ**

山地の落葉樹の林縁で観察  
できます。



**エイザンスミレ**

山地の林縁で観察できます。  
葉が特徴的です。



**ナガバノスミレサイシン**

山地の林縁や林床で観察でき  
ます。群生します。



**ニョイスミレ**

丘陵、田畑、山地で観察でき  
ます。

## トウキョウサンショウウオの 卵がない!?



トウキョウサンショウウオ(成体)  
水中でメスを待つオスたち



3月になり雨が降り始めるとカエルやサンショウウオの産卵のピークになります。今年もパプロレンジャーを筆頭に両生類の産卵状況調査を行いました。主にトウキョウサンショウウオの産卵場所と卵のう数を調査していますが、過去の文献と比較してみても明らかに産卵箇所と卵のう数の減少がみられます。しかも、後日同じ産卵場所で卵の成長を確認したところ、30コくらいあった卵のうが全くなっているという場所がありました。野生動物に食べられるということもあるので、足跡・食痕を探してみましたが見つかりません。明らかに人による卵のうの持ち去りと思われる。1つの産卵場所から大人になれるサンショウウオは5%いるかないかという生存率です。卵のうを見つけたときは、静かに成長を見守ってください。

親子で一緒に

# 里山探検だ！



3月17日に「菅生若宮子ども体験の森」で私たちレンジャーが市内の小学生親子（子ども11名、保護者5名）と自然観察や里山遊びをしてきました。天気予報は雨だったので野外でプログラムが開催できるのかとても心配でしたが、なんとか午前中は天気が持ちこたえてくれました。雑木林の中を散策しながら観察し、ザイルで作ったブランコやワイヤーに滑車を付けたスライダーで森の中で遊び、そして、獣道を探して追跡するなど、たくさんの森での探検を楽しみました。また、広場ではシイタケの菌打ちをしていたので、飛び入りで体験させてもらったり、ネイチャーゲームを楽しんだりしました。昼になったところで雨がぱらぱらと降り出してきてしまったので、広場に張ったタープ（ブルーシート）で雨宿りをしながらの昼食になりました。

午後は、菅生交流会館に移り、孟宗竹を使った工作を楽しみ、それぞれがお土産に自分の作品を持ち帰りました。みんな独創的でいろんな作品ができました。天気がすぐれない日でしたが、盛りだくさんの里山体験ができました。



- i) 川で生き物さがしです。何か見つかったかな。
- ii) 木と木の間をスライダー。ちょっと怖かったけど、慣れると楽しい。
- iii) 夢中で木にシイタケの菌を打ち込みます。もうお昼ですよ！
- iv) 親子で仲良くネイチャーゲーム。コウモリとガになりきって。
- v) 竹を使った工作。菜ばし、器、湯のみにカミキリムシかな！

## 3月11日のコレンジャーの活動

～1期生の卒業、そして2期生の募集～



今回のコレンジャーの活動の中で一番盛り上がったのは、「バームクーヘン作り」です。ホットケーキの粉に水を足しただけの生地。これを塗って焼いてを繰り返していくのですが、この過程がとても面白い。コレンジャーたちは真剣に、夢中に、火の熱さに耐えながら生地の付いた竹をクルクル回して、バームクーヘンを焼き上げます。完成したバームクーヘンにはしっかりと年輪模様がありました。ちょっと焦げた味がしたけどみんなで協力して作ったのでおいしかったね！！

1年間のコレンジャーの活動を振り返り、本当にいろいろな自然に触れ合ったと思います。この体験がコレンジャーたちの記憶のどこかに残り、将来大人になった時に思い出してくれたらいいなあ～と密かに願っています。そして、自然の素晴らしさを次世代に伝えていってほしいものです。



森の子コレンジャー1期生

今回で「森の子コレンジャー1期生」の活動は終了です。5月から始まる「森の子コレンジャー2期生」のメンバーを現在募集中です。コレンジャーの活動では、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶことを目標としています。

応募方法等の詳細については、『あきる野市役所 環境の森推進係 (042) 558-8862』までお問い合わせください。（「森の子コレンジャー2期生」の申し込みはハガキで受付けています。締め切りは4月13日当日消印有効となっております。）